

2012年(平成24年)7月28日(土曜日)

金大留学生 華道に熱

今年開設の講座が人気

金沢大留学生センターが主催する課外活動の華道講座が、留学生の人気を集めている。前期最後の講座が二十七日に行われ、作品と記念撮影する留学生もいた。

茶道と書道は既に開設されていたが、華道は今春から始まった。草月流師範で環日本海区域環境研究センター教授の塚脇真二さん(五三)を講師に、インドネシアやタイ、ロシア、中



留学生に生け方を指導する塚脇教授＝金沢大で

国などからの留学生二

十人近くが月一回学んでいる。

この日の花材は、ガマノホにリンドウ、ユキヤナギ、クルクマ。花と緑の葉を組み合わせ、さわやかな夏の表現に取り組んだ。塚脇教授が図で

型を示しながら、まず英語で説明。花を生け始めてからは一人ずつに、手短かに助言していた。

ロシアのイリーナ・メルニコワさん(三三)は「花のない部分をも、きれいに感じさせる点

が、華道の魅力。きれいだけではない意味の深さもあって、とても楽しい」と話す。

留学生の課外活動を担当する深川美帆特任准教授は「特に東南アジアの学生には、華道が好まれるようです」と話している。

(今宮久志)